

## 青森県商工会議所女性会連合会 青森大会

青森県商工会議所女性会連合会総会が、6月6日にホテル青森で開催され、平成26年度の事業計画（案）等が承認されました。

総会後の「心はことばに乗って～ことばの不思議、ことばの魅力～」がテーマの講演会は、三村県知事の奥様で、八戸学院短期大学客員教授の三村三千代氏が講師を務め、「“ことば”の持っている力を信じて、自分の思いをどんどん言葉にしてほしい」と語りかけていました。辞書は調べるためだけでなく、読み物として触れても面白いということにちょっと驚きました。

懇親会の席でも、滅多にお目にかかれない雅楽による『人長舞』を拝見することができました。これは、毎年12月中旬に行われる、宮中御神楽の進行を司る人長による舞で、厳かで神聖な祝舞を私たちの慶賀に際し披露していただきました。

その後、各女性会で発表があり、会長より「青森商工会議所女性会のおもてなしの素晴らしさに感謝申し上げます」と述べ、メンバー同士でも確認し合いました。（中野渡 俊子）



厳かな祝舞「人長舞」の披露



参加したメンバーと当所女性会をPR

## 東北六県商工会議所女性会連合会総会 五所川原大会

会場内に飾られた立俵武多の前で



講師の吉幾三氏に益川会長が花束贈呈



7月11日、前日までの台風で天候が気になりましたが、女性のパワーで台風も去り、東北六県商工会議所女性会連合会総会五所川原大会が盛大に開催され、東北45商工会議所女性会からおおよそ600名が一堂に会しました。今回は青森県が担当ということで、私たちもお手伝いをする側として13名で出席し、また、石川会頭、櫻田専務理事にも来賓で出席していただきました。

大会は、第1部の会員大会にはじまり、記念講演、フルートとピアノのミニコンサートなど盛りだくさんの内容。中でも、記念講演で五所川原市（旧金木町）出身の歌手・吉幾三氏が「自分の子どもには『ありがとう、ごめんなさい』を言えるように育てた。この言葉は社会を生き抜く上で大切である」と語ったことが印象的で、自分もこの言葉を素直に言えるようにしたいと思いました。

アトラクションも素晴らしいものでした。歓迎（お出迎え）の漆川獅子舞やオープニングの嘉瀬奴踊、懇親会中の津軽三味線演奏や津軽民謡手踊りなど、伝統芸能の数々を体感し楽しむことができました。

五所川原女性会のおもてなしのすごさを感じるとともに、私たちも県外の女性会の皆様へおもてなしのお手伝いできたかなと思っています。

（工藤 洋子）